

No. 1355

新春の天皇ご一家

おだやかな初春の日ざしに包まれた皇居。

天皇ご一家はお揃いで新年を迎えられました。天皇陛下は今年79歳になりますが、ますますお元気。皇后さまは喜寿、浩宮さまは成年式と喜びごとがひかえている天皇ご一家です。

初春の新島

1980年の夜明けを静かに迎えた伊豆の島々。イースター島のモアイを連想させる巨石文化「モヤイ像」がほほえみかける新島は、観光客も少なく、島本来の静けさを取り戻している。真冬でも平均気温9度という暖かい島の至るところに椿やフリーズの花が咲きほころぶ。旅なれた人は、冬の新島が最高という。日本で最初の無人灯台、新島灯台。

白い砂浜ではサーフィンを楽しむ若者がちらほら。「モヤイ」とは島の方言で「力を合わせる」と言う意味だとか。

野猿騒動記

— 和歌山・椿 —

和歌山県椿温泉。この温泉の近くの伊勢ヶ谷に野猿公園がある。ここの猿、観光客には愛きょうをふりまき人気者。だが近くに住む井潤小三郎さん(45才)一家にとってはえらい厄介者。猿は家のまわりを朝から晩まであっちでウロウロこっちでウロウロ、いたずらの限りをつくす。このいたずらで井潤さん方の被害は相当なもの、窓ガラスは割られ、屋根の樋は壊わされてもうない。被害は裏山にもおよび、近頃ではガケ崩れの心配も出てきた。ウッカリ玄関のカギをかけ忘れようものなら大変、猿がさっそく中に入ってこの有様。ボス猿は特にいたずらが激しく奥さんのちずよさん(38才)とは10年来の友達気どり。テレビのアンテナも格好のいたずら材料となり、奥さんがたびたびの画面調整。この調子だから壊れるのも早い、3ヶ月に一度は電気屋さんがやってくる。この付近にはその昔10軒ほどの民家があったがこの猿のいたずらに閉口して井潤さん方を残してみんな逃げだした。残された祖先の墓も猿には勝てずとうとう網のなか。ことここに至っては全く立場は逆転した。ビニールハウスの作物は猿の大好物。これを荒らされてはとおばあちゃんのハヤノさん(83才)が仕事をしながら見はり役。何の因果かこのおばあちゃん、明治29年生れの猿年、それでも生活のためとなれば背中にさした花火でやっつけるという。今年サル年、だが井潤さんにはあまり有難くない年になりそうだ。